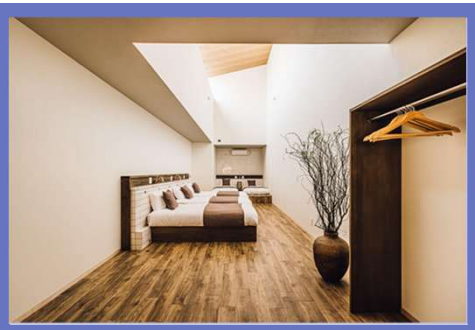
100億宣言

株式会社MASSIVE SAPPORO（宿泊業）

MASSIVESAPPORO



山鼻温泉屯田湯旅館（廃業した銭湯を無人ホテルとして再生

〇本社所在地：北海道札幌市中央区北5条西17丁目4-8

〇事業概要：民泊・無人ホテルの開発および運営

〇常時使用する従業員：25名
（2026年10月時点）

〇現在の売上高：12.6億円
（ 2025年10月期）

〇法人番号：9430001059620

〇Web：https://massivesapporo.com

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
川村　健治

北海道を愉快に楽しくMASSIVEに！
― 北海道の眠れる価値を、もう一度ワクワクする価値へ。―

私たちは、北海道に眠る「まだ価値のあるもの」を再び輝かせる会社を目指します。廃校、温泉旅館、民宿、遊休不動産、そして後継者不足やDXの遅れによって、本来の力を発揮できていない地域企業。北海道には、失われつつある一方で、磨けば再び大きな価値を生み出せる資産が数多く存在します。　MASSIVE SAPPOROが培ってきた宿泊施設の再生・運営、企画、集客、DX、無人化・省人化のノウハウを投入し、こうした北海道の資産や企業を承継・再生していきます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2036年の売上高100億円達成に向け、年率約24%の成長を目指す。既存事業の成長に加え、M&A・事業承継、遊休資産の再生、新規事業を新たな成長エンジンとし、北海道の地域資産・企業の再生とともに持続的な成長を実現する。

課題

急速な事業拡大に対応できる経営・組織基盤の構築に加え、M&A・事業承継を継続的に実行するための人材・資金・ノウハウの確保が課題である。また、取得した企業・資産にMASSIVEの運営・DX・集客ノウハウを迅速に導入し、再生・収益化できる仕組みの標準化が必要となる。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

① 既存事業の深化・全国展開
② 北海道再生M&Aの推進
③ 遊休資産の再生
④ 再生モデルの横展開

実施体制

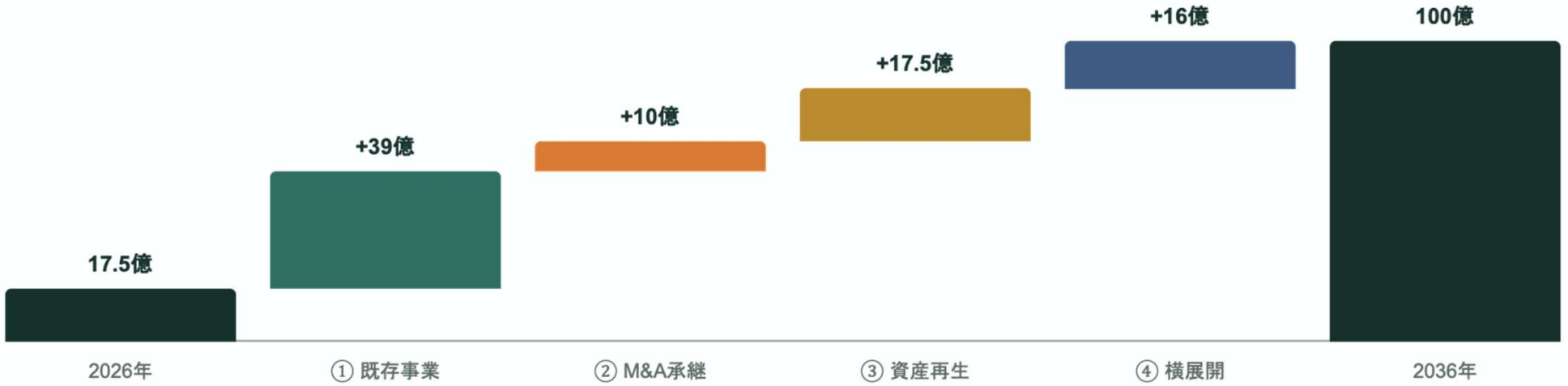
既存の宿泊施設プロデュース・運営事業は、現在の組織・人材を基盤として継続的な成長を図る。M&A・事業承継、遊休資産の再生、新規事業については、経営者直轄で推進するとともに、今後、専門人材の採用・育成および外部専門家との連携を進め、案件の発掘から取得、再生、事業成長までを一貫して担う「再生事業」の推進体制を構築する。

※本宣言は企業自身がその責任において売上高１００億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

100億宣言　株式会社MASSIVE SAPPORO（宿泊業）

4つの成長エンジンで10年後の100億へ

成長ブリッジ：2026年 → 2036年（単位：億円）



① 既存事業の深化・拡大

運営DX・省人化で収益最大化。FC展開も含め全国へ加速し、年率約15%で成長。

17億円 → 56億円

② M&A・事業承継による再生

後継者不足やDX遅れを抱える温泉旅館・民宿・ホテル等を承継し、MASSIVEのノウハウで再成長。

0億円 → 10億円

③ 北海道の遊休資産再生

廃校・空きビル・旧店舗等を宿泊・観光・交流・ウェルネス拠点へ転換。

0.5億円 → 18億円

④ 再生モデルの横展開

再生で培ったノウハウを標準化し、グループ企業・新規事業へ横展開。

0億円 → 16億円